学校番号	T1208

令和２年度　　国語科

教科	国語科	科目	古典Ａ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「高等学校　標準古典A　物語選」　（第一学習社）						
副教材等							

１ 担当者からのメッセージ（学習方法等）

・古典(古文、漢文)もまた先人たちがそれぞれの思いや、考えを他者に伝えるために書いた文章です。　その声に耳を傾けるつもりでじっくり読んでみましょう。
・古文には古語や古典文法など現代語と違う部分があります。少しずつ理解し、覚えていきましょう。
・漢文訓読は中国の文章を日本語で読むために工夫された技術です。まず基本的なルールを確認し、内容を読み解いていきましょう。
・歴史的な背景や人物関係を知ることで理解や味わいが深まることもあります。また、現代との違いにも興味を持って下さい。
・最終的には現代語訳を示します。まずは大意から入って細部まで味わって下さい。
・古文や訓読漢文には、意味内容だけでなくそのリズムや口調にも魅力があります。本文を声を出して読むことを心がけて下さい。また、有名な一節については暗唱にも挑戦してみて下さい。
・授業では理解や学習への努力を確認するためにほぼ毎時間ワークシート(学習プリント)を使います。しっかり書き込んで完成させて下さい。それが定期考査の対策にもつながります。
・古典に限らず、授業は一つの単元を継続して学んでいきます。途切れ途切れにならないよう休まずに出席することが大切です。

２ 学習の到達目標

・古典としての古文と漢文を学ぶことによって、日本の言語文化に対する理解と教養を深め、日々の言語生活を、表現、思想、情感の各面からより豊かなものに育んでいく姿勢を身につける。

３ 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e：知識・理解
観点の趣旨	古典を進んで学習し、伝統的な言語文化について理解を深めようとしている。			古典などに表れた思想や感情を読み取り、人間、社会、自然などについて考察したり、古典特有の表現を味わったりする態度を身に付けている。	古典を読むために必要な、語句の意味、用法、文の構造、文法、音声、表記等を理解し、知識を身に付けている。
主たる評価方法	・授業態度 ・発問評価 ・ﾜｰｸｼｰﾄの点検 ・定期考査			・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・ﾜｰｸｼｰﾄの点検 ・定期考査	・授業態度 ・発問評価 ・ﾜｰｸｼｰﾄの点検 ・小ﾃｽﾄ ・定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
前期	説話に親しむ	〈説話を通じて個展に親しみを持ち、その面白さを理解する〉 ・教材：「十訓抄」文字一つの返し ﾜｰｸｼｰﾄ	○			◎	○	a:歴史的な知識もおさえた上で登場人物の関係を理解している。 d:一字の違いにこめられた登場人物の意図、思いを理解している。 e:助詞の働き、意味の違いを理解している。	a/d: 授業態度 発問評価 e:小ﾃｽﾄ 定期考査
	歌物語の世界	〈現代とは異なる時代背景を知った上で、変わらぬ人情を読み解く〉 ・教材：「大和物語」姥捨 ﾜｰｸｼｰﾄ	○			◎	○	a：古語の意味に興味を持ち、古語辞典で調べられる。 b:親子の関係を現代の問題としても考えてみている。 d:登場人物の行動と心情、和歌に込められた思いを読み取っている。 e:歌物語に於ける和歌の働きを理解している。	a/d: 授業態度 発問評価 b:感想発表 e:小ﾃｽﾄ 定期考査
	和歌の鑑賞（一）	〈和歌の原型を味わう〉 ・教材：「万葉集」 ﾜｰｸｼｰﾄ	○			◎	○	a：和歌と生活との関係、古代人の暮らしに興味を持っている。 d:和歌の意味から、そこに込められた心情の深さに思いをいたしている。 e:句切れに注意して和歌を正しく朗読できている。また、「万葉集」成立の意義を理解している。	a/d: 授業態度 発問評価 e:小ﾃｽﾄ(暗唱ﾃｽﾄ) 定期考査
	漢文（一）故事・寓話	〈短めの作品から、古典漢文の語る意味の奥深さを学ぶ〉 ・教材：「助長」「推敲」 ﾜｰｸｼｰﾄ	○			◎	○	a：漢文に基づいた故事成句に興味を持っている。 d:本文を訓点に従って正しく読み、書き下し文にすることができる。また、話に即してそれぞれの成句の意味を理解している。 e:日頃用いている言葉の中にも古代中国の故事に由来しているものがたくさんあることを知る。	a/d: 授業態度 発問評価 e:小ﾃｽﾄ 定期考査
	物語を読む（一）	〈身近な古典の物語を原文で楽しむ〉 ・教材：「竹取物語」かぐや姫の昇天 ﾜｰｸｼｰﾄ	○			◎	○	a:「かぐや姫」の原典に接し、その詳しい描写を視覚的に思い描こうとしている。 d:登場人物の言動と心情、物語の展開を正確に読み取っている。 e:「物語の親」としての「竹取物語」の文学史的な意義を理解している。	a/d: 授業態度 発問評価 e:小ﾃｽﾄ 定期考査

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。

に○を付けている。

後期	随筆を楽しむ	〈時代背景をふまえて“無常”ということの意味を学ぶ〉 ・教材：「方丈記」安元の大火 ﾜｰｸｼｰﾄ	○			◎	○	a:「安元の大火」をいう事実と作者・鴨長明の生涯とを歴史的に理解している。 d:火災現場の生々しい状況描写を実感をもって読み取れている。 e:安元の大火を経験した長明の「無常観」を現代に置き換えて考えている。	a/d: 授業態度 発問評価 e:小ﾃｽﾄ(暗唱ﾃｽﾄ) 定期考査
	物語を読む（二）	〈歴史物語を通して生々しい人間模様を読み解く〉 ・教材：「大鏡」弓争ひ、三舟の才 ﾜｰｸｼｰﾄ	○			◎	○	a:登場する歴史上の人物とそれぞれの関係に興味を持っている。 d:登場人物の言動からそれぞれの心情や性格を対照的にとらえられている。また、敬語の使い分けが意識できている。 e:その後の両者の運命を日本史の面から跡づけている。	a/d: 授業態度 発問評価 e:小ﾃｽﾄ 定期考査
	和歌の鑑賞（二）	〈和歌の調べと修辞を学ぶ〉 ・教材：百人一首（「古今集／新古今集」） ﾜｰｸｼｰﾄ	○			◎	○	a:百人一首などの形で今につづく歌の文化を体感する。 b:百人一首を暗唱し、実際に札をとってみる。 d:仮名序にこめられた王朝人の和歌への思いを理解している。 e:和歌の修辞についての知識を身につけている。	a/d: 授業態度 発問評価 e:小ﾃｽﾄ(暗唱ﾃｽﾄ) 定期考査
	諸家の思想	〈儒家と老荘の思想にふれる〉 ・教材：「孟子／老子」 ﾜｰｸｼｰﾄ	○			◎	○	a:諸子百家が登場した歴史的背景を理解している。 c:自分が疑問に思ったり、共鳴できる考え方について意見をまとめられている。 d:脚注も参考にしながらそれぞれの思想家の主張と、その相違点を読み取っている。 e:古代中国思想の流れを理解している。	a/d: 授業態度 発問評価 c:意見文 e:小ﾃｽﾄ 定期考査
	物語を読む（三）	〈歴史的な背景をふまえて登場人物の関係性と心情を読み味わう〉 ・教材：「平家物語」忠度の都落ち ﾜｰｸｼｰﾄ	○			◎	○	a:源平合戦の時代とそこに生きた人々に関心を持っている。 d:登場人物それぞれの置かれた立場を理解し、戦時にあっても和歌を通してつながる師弟の姿を読み取っている。 e:音便など日本語の変化に関心を持っている。	a/d: 授業態度 発問評価 e:小ﾃｽﾄ 定期考査

※ 表中の観点について　a：関心・意欲・態度　b：話す・聞く能力　c：書く能力
c：読む能力　d：知識・理解

※ 原則として一つの単元（教材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。